

プログラム責任者からのメッセージ



専門研修基幹施設である大学病院として高度あるいは希少症例の経験ができます。指導医も他の施設に比べて豊富であり、臓器別の専門性もある程度確保されています。保有する抗体も多く、他施設症例の検討も随時行っています。連携施設での剖検等を経験する事で、専門医試験の受験資格で引っかかる事のある剖検基準を早めにクリアするようにプログラムを作成しています。

病理学講座 教授
病理診断科 科長
村上 一郎

プログラムの特色

本プログラムでは、高知大学医学部附属病院病理診断科を基幹施設とし、3年間は高知医療センター、高知赤十字病院、国立病院機構高知病院、近森病院の専門研修連携施設をローテートして病理専門医資格の取得を目指します。また、細木病院、JA高知病院、県立幡多けんみん病院、県立あき総合病院の症例も経験可能です。高知県外では、希望に応じて、松山市民病院(愛媛県)、はりま姫路総合医療センター(兵庫県)の専門研修連携施設をローテートする事も可能です。

連携施設名等

施設名		指導医数等
基幹施設	高知大学医学部附属病院	村上 一郎 教授 他12名(連携施設含む)
連携施設		
	●高知医療センター ●高知赤十字病院 ●国立病院機構高知病院 ●近森病院 ●細木病院 ●JA高知病院 ●県立幡多けんみん病院 ●県立あき総合病院 ●松山市民病院(愛媛県) ●はりま姫路総合医療センター(兵庫県)	

専攻医 週間スケジュール

月	火	水	木	金
Cancer board (月1回)	病理学実習 (1時限及び2時限) 参加 (10月～翌年2月)	肝胆膵 カンファレンス	皮膚カンファレンス、 腎臓カンファレンス、 肺がんカンファレンス	終日診断業務
随时、剖検(基幹施設或いは連携施設にて)				

専門医取得までのタイムスケジュール

i 知識、技能、態度の目標内容

参考資料／「専門医研修手帳」p.11～37
「専攻医マニュアル」p.9～「研修すべき知識・技術・疾患名リスト」

ii 知識、技能、態度の修練スケジュール【整備基準3・④】

研修カリキュラムに準拠した専門医研修手帳に基づいて、現場で研修すべき学習レベルと内容が規定されている。

I. 専門研修1年目

- 基本的診断能力(コアコンピテンシー)、
- 病理診断の基本的知識、技能、態度(Basic/Skill level I)

II. 専門研修2年目

- 基本的診断能力(コアコンピテンシー)、
- 病理診断の基本的知識、技能、態度(Advance-1/Skill level II)

III. 専門研修3年目

- 基本的診断能力(コアコンピテンシー)、
- 病理診断の基本的知識、技能、態度(Advance-2/Skill level III)

取得可能専門医

● 病理専門医

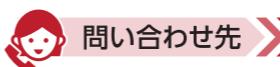
- 細胞診専門医(カリキュラム制)
- 臨床検査専門医(カリキュラム制)

指導医の声

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター検査診療部部長、病理診断科科長 岩田 純

専門研修連携施設である高知県・高知市病院企業団立高知医療センターは、地域の中核病院として、大学病院に劣らない規模と症例数があり、多彩で豊富な症例が経験可能です。高知大学医学部と距離もあり離れておらず、また本プログラムに参加する他の施設とも良好な連携が取れており、一体感のあるローテーションプログラムの一端を経験できます。

国立高知病院臨床検査科長 成瀬 桂史
中規模病院ですが、年200例以上の乳腺症例、年100例以上の肺手術症例を経験できます。



問い合わせ先



担当者名／村上 一郎

ムラカミ イチロウ

教室名／病理学講座・病理診断科

電話／088-880-2329・2689

メール／ichiro-murakami@kochi-u.ac.jp

ichiro.murakami.09@gmail.com